

① 球体としての地球

教 p. 6~9

演習問題

◆資料の読み取り◆

右の図を見て、下の文章中の空欄に適語を記入しなさい。

東京を1月1日午前10時に出発した旅客機が、13時間のフライトでニューヨークに到着した。到着時のニューヨークの現地時間を求める。

両都市の標準時子午線は、

- ・東京が東経〔①〕度
- ・ニューヨークが西経〔②〕度

である。

したがって、経度差は〔③〕度であり、

時差は〔③〕÷〔④〕＝〔⑤〕時間となる。

東経〔①〕度は西経〔②〕度よりも東に位置しているため、東京の時刻はニューヨークよりも〔⑤〕時間進んでいる。

したがって、東京を出発したときのニューヨークの現地時間は、

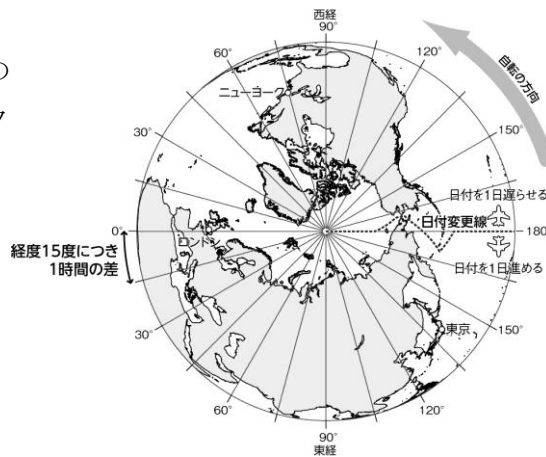
〔⑥〕月〔⑦〕日午後〔⑧〕時である

(サマータイムの期間であれば午後〔⑨〕時)。

フライトは13時間であるため、ニューヨークの現地時間で

〔⑩〕月〔⑪〕日午前〔⑫〕時に到着することになる

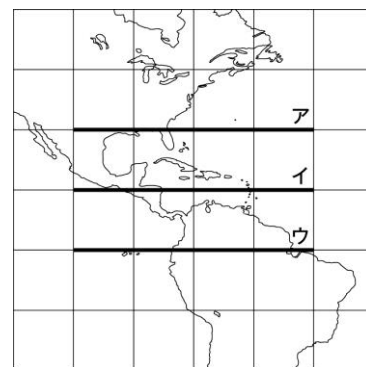
(サマータイムの期間であれば午前〔⑬〕時)。



◆センター形式で実践◆

問1 右の図中に引かれたア～ウの太線のうち、地球上の距離が最長のものと、およその距離との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

	①	②	③	④	⑤	⑥
距離が最長のもの	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
およその距離 (km)	3,340	6,680	3,340	6,680	3,340	6,680



経線・緯線は15°間隔。
正距円筒図法による。